

シラバス参照

発達障害の臨床心理学

科目コード	2696592
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	発達障害の臨床心理学
科目区分	専門科目:心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマナカ トモヒサ 山中 智央 (島根大学講師)
日程 実施時間	2026年12月19日(土)第1時限 09:50～11:20 2026年12月19日(土)第2時限 11:30～13:00 2026年12月19日(土)第3時限 14:00～15:30 2026年12月19日(土)第4時限 15:40～17:10 2026年12月20日(日)第1時限 09:50～11:20 2026年12月20日(日)第2時限 11:30～13:00 2026年12月20日(日)第3時限 14:00～15:30 2026年12月20日(日)第4時限 15:40～16:25 2026年12月20日(日)試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【島根学習センター】で行います。

授業概要	【授業内容】 本授業では、発達障害を「診断名」だけで捉えるのではなく、本人の特性と環境との関わりから理解し、臨床心理学の視点で支援の考え方と組み立て方を学びます。面接や観察などアセスメントの基本を踏まえ、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などの特徴と、日常生活での支援のポイントを整理します。あわせて、発達障害児を持つ家族への支援としてペアレント・トレーニングを取り上げ、きょうだいを含む家族の課題にも触れます。理解を深めるため、授業内では事例を用いたグループディスカッションも行います。 【到達目標】 ・発達障害を、診断名だけでなく本人の特性と環境との関わりとして説明できる。 ・面接・観察など基本的なアセスメントの視点をを用いて、困りごとを整理できる。 ・自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などの主な特徴を踏まえ、支援のポイントを述べられる。 ・家族支援の基本を理解し、事例に対して支援案を提案できる。 【授業テーマ】 第1回現代の障害概念と臨床心理学の役割 第2回支援につながる評価(アセスメント)の基本 第3回各障害概論①: 自閉スペクトラム症の理解 第4回各障害概論②: 注意欠如多動症の理解 第5回各障害概論③: 限局性学習症やトゥレット症候群等の理解 第6回発達障害児の家族支援① 第7回発達障害児の家族支援② 第8回まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業では、発達障害を診断名の知識として覚えるのではなく、臨床心理学の視点から「その人の困りごとがどのように生じ、何が支えになるのか」を丁寧に考えることを大切にします。身近な場面で役立つ見方や関わり方を学びたい方は、ぜひ受講してください。 【受講前の準備学習等】 受講前に、発達障害(自閉症スペクトラム症・注意欠如多動症・限局性学習症等)の基本的な特徴や、ペアレント・トレーニングの概要を入門書や、信頼できるウェブで調べるようにしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 【その他(特記事項)】 参考文献については授業時に紹介いたします。
------	--